

令和5年度事業報告書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

I 事業概要

令和5年度の上半期は、5月、国内において、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、日本人観光客はもちろんのこと海外からの観光客が日本の各地観光地に流れ込み、一部観光地ではオーバーツーリズムと言われるまでに顕著な観光客数の伸びを示した。下半期に入ってもこの傾向は続き、さらに年度末に向けて、海外から大型クルーズ船が多数名古屋港に寄港するなど、名古屋城を訪れる海外からの観光客が増加傾向になった。

名古屋城の入園者数も新型コロナウイルス感染症流行以前の平成31年度のレベルにまで回復。NHK大河ドラマ「どうする家康」の人気や、暖冬だったこともあり、厳冬期の閑散期もほぼ感じさせることがなく、常に一定数の入園者数があった。このことも相まって、当協会の収益も顕著な回復傾向で推移した。

協会事業は新型コロナウイルス感染症対策を引き続き施しつつも、一部事業を平成31年度に実施した規模に増大させるなど、新しい生活様式に即した事業へとかじ取りをした。城内の他事業も盛んに実施されており、名古屋市と連携、調整をしながら各種事業に協力するなど、積極的に参画した。開館二周年を迎えた西の丸御蔵城宝館では地域に密着した内容の企画展が開催され、地域市民の来館者が増加傾向にあり、地域市民に向けた新たなサービスの創出・提供が必須となっている。このように、旅行スタイルの変化や多様化する来場者ニーズへの対応が課題となる中、コロナ禍には開催できなかった合同接遇研修を実施、各所連携を取りながら一体となって来場者サービスの向上に努めた。

II 事業報告

1 情報提供事業

名古屋城来場者を対象に、城内案内を始め各種サービスを提供するために、名古屋城総合案内所の運営を実施した。

設置場所	正門横無料休憩所内
期間	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
利用者数	64,763人(うち、外国人7,805人) ※前年比 107.7%(外国人311.0%)
案内件数	62,653件(うち、名古屋城関係54,512件)

2 教育文化事業

(1) 名古屋城の魅力向上を図るため、城内において次の主催事業を実施した。


事業名	第138回名城市民茶会
開催日時	(令和5年3月26日(日))、4月2日(日)、4月9日(日) 午前9時30分～午後3時
会場	城内茶席 書院(広間席)
利用者数	386人


事業名	しろの日(4月6日)記念行事
開催日時	令和5年4月6日(木)午前9時～配布
会場	西之丸しろの日特設ブース
利用者	先着460名
内容等	4月6日のしろの日を記念し、「しろの日記念特別御城印」を無料配布。名古屋城天守木造化の機運醸成につなげる。

事業名	名古屋城でチャレンジ 名古屋城の歴史「石垣の拓本を採ろう！」
開催日時	令和5年7月22日(土)午前9時30分～午前11時30分
会場	城内茶席「書院」・城内塩蔵構西側石垣
参加者数	28組56人
内容等	学芸員による名古屋城の石垣解説(座学) 石垣の拓本採取(実技)

事業名	第139回名城市民茶会
開催日時	令和5年10月22日(日)、10月29日(日)、11月5日(日) 午前9時30分～午後3時
会場	城内茶席 書院(広間席)
利用者数	418人

事業名	名古屋城でチャレンジ 二之丸庭園散策と茶の湯体験
開催日時	令和5年12月2日(土)
会場	城内茶席 書院(広間席)
参加者数	3組6人

内 容 等	名勝二之丸庭園を学芸員の解説と共に散策し、その後、二の丸茶亭で、ご自身で抹茶を点てる体験をし、お菓子と共にいただく	
事 業 名	新春 干支の置物プレゼント	
開 催 日 時	令和6年1月1日（月・祝）午前9時～	
会 場	正門・東門	
利 用 者 数	1000人	
内 容 等	<p>今年の干支・辰の置物を 来場者に先着でプレゼント (干支・辰の置物)</p>	
事 業 名	書き初めイベント 名古屋城で初「夢」を書こう！	
開 催 日 時	令和6年1月2日（火）午前10時～	
会 場	本丸御殿 孔雀之間	
利 用 者 数	150人	
内 容 等	初代尾張藩主徳川義直公の書「夢」（当協会所蔵）をお手本に、当日来場した希望者がミニ色紙に書き初めして持ち帰る	
事 業 名	名古屋城でチャレンジ 名古屋城「子ども重ね捺しスタンプラリー 文化財を巡ろう」	
開 催 日 時	令和6年1月6日（土）、7日（日）、8日（月・祝） 午前9時～午後3時	
会 場	城内	
利 用 者 数	863人	
内 容 等	城内に5か所設置したスタンプポイントでスタンプを重ね捺しすると版画「金城及名古屋名所図」（当協会所蔵）の天守閣部分が、完成するとともに、スタンプポイント周辺の文化財を巡ることができる	
事 業 名	金鯰キーホルダー工作教室	
開 催 日 時	令和6年3月9日（土）、10日（日）	
会 場	西の丸御蔵城宝館 歴史情報ルーム	
利 用 者 数	28人	
内 容 等	プラ板に金鯰の絵を写し取って、オリジナル金鯰キーホルダーを作成する	

事業名	季節の草花でお出迎え！	
期間	令和5年4月1日（土）～ 令和6年3月31日（日）	
内容等	<p>環境美化を図るため、四季の草花を植えたプランターを城内施設前に設置。</p> <p>設置数：舟形プランター9個、丸鉢11個</p> <p>（設置されたプランター）</p>	

(2) 名古屋城の魅力向上を図るために、名古屋市等が主催する事業の円滑な実施に協力した。

事業名	第76回名古屋城菊花大会	
期間	令和5年10月29日（日）～ 令和5年11月23日（木・祝）	
会場	西之丸・本丸御殿孔雀之間	
賞交付	理事長賞（最優秀賞）	大菊三種三本行燈作りの部
	理事長賞（最優秀賞）	山菊自由花岩付の部
	理事長賞（最優秀賞）	山菊自由花数立の部

事業名	第67回全国らんちゅう品評大会	
開催日	令和5年11月12日（日）	
会場	二之丸	

事業名	第50回名古屋城つばき展	
期間	令和6年3月2日（土）～ 令和6年3月11日（月）	
会場	西之丸	
賞交付	理事長賞（最優秀賞）	盆栽の部（大）羽衣

事業名	名古屋城PRイベント実行委員会事業	
内容等	<p>【名古屋市民の森づくり事業】</p> <p>① 開催日 令和5年10月14日（土）</p> <p>会場 長野県木曾郡木曾町</p> <p>主な内容 植樹・育樹、体験プログラム（ひのきの箸づくり・</p>	

たまごカーづくり・織物体験)
参加者数 23名

② 開催日 令和5年11月12日(日)

会場 岐阜県中津川市

主な内容 植樹・育樹、体験プログラム(竜神の滝散策・苔玉づくり)

参加者数 32名

【名古屋城検定事業】

① 名古屋城検定

開催日 令和5年11月11日(土)

会場 名古屋市公会堂

受験者数

クラス	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
初級	97	84	86.6
中級	90	46	51.1
上級	63	10	15.9
全体	250	140	56.0

② 名古屋城子ども陣笠隊講座

日時 令和5年8月19日(土)、8月20日(日)

午前の部 午前10時～正午

午後の部 午後2時～午後4時

会場 名古屋城・名古屋能楽堂

講師 名古屋おもてなし武将隊 織田信長、加藤清正
徳川家康と服部半蔵忍者隊 服部半蔵

参加者数 8月19日(土) 午前15名、午後12名

8月20日(日) 午前14名、午後12名

③ 上級対策講座(上級受験者向け)

日時 令和5年8月27日(日)

午後2時～午後4時

会場 名古屋能楽堂会議室

講師 苅谷熱史氏

(令和4年度名古屋城検定上級最高得点合格者)

定員 28人

④ 城郭ライター 萩原さちこ氏トクショー(初・中級受験者向け)

日時 令和5年9月3日(日)

午後2時～午後3時30分

会場 鯉城ホール

講師 城郭ライター 萩原さちこ氏

(名古屋城検定 PR 大使/日本城郭協会理事)

テ ー マ 「お城めぐりを始めるなら、名古屋城から」
定 員 88 人

⑤ 城郭建築の第一人者 三浦正幸氏講演会 (上級受験者向け)

日 時 令和 5 年 9 月 18 日 (月・祝)
午後 2 時～午後 3 時 30 分

会 場 鯉城ホール
講 師 広島大学名誉教授 三浦正幸氏

(名古屋城検定上級クラス参考図書監修者/

日本城郭協会評議員)

テ ー マ 「名古屋城が実現させた、家康の天下取り」
定 員 139 人

【文化発信事業】

(1) 名古屋城夜間特別公演「名古屋城本丸薪能」

日 時 令和 5 年 9 月 30 日 (土) 午後 6 時 30 分
会 場 名古屋能楽堂

※「本丸御殿北側 特設能舞台」を予定していた
が、降雨のため会場変更

参加者数 600 名

演 目 能「通小町」雨夜之伝
狂言「杭か人か」
半能「石橋」大獅子

(2) 名古屋城学びの場 城小屋

① 城小屋「名古屋城と尾張徳川家の蔵書」

日 時 令和 5 年 5 月 3 日 (水・祝)
午前 10 時～午前 11 時 30 分

会 場 本丸御殿 孔雀之間
講 師 学芸員 今和泉大氏

(名古屋城調査研究センター学芸員)

内 容 江戸時代を通じて形成された尾張徳川家の膨大か
つ良質な蔵書コレクションを紹介。

定 員 26 人

② 城小屋「最新の発掘調査成果からみた二之丸庭園」

日 時 令和 5 年 8 月 11 日 (金・祝)
午前 10 時～午前 11 時 30 分

会 場 本丸御殿 孔雀之間
講 師 学芸員 村上慶介氏

(名古屋城調査研究センター学芸員)

内 容 整備計画に基づく発掘調査により明らかになっ
てきた江戸時代の二之丸庭園の様相を紹介。

参加者数 31 人

③ 城小屋「尾張藩とまつり」

日 時 令和5年10月17日（火）

午後6時～午後8時

会 場 本丸御殿 孔雀之間

講 師 学芸員 原史彦氏

（名古屋城調査研究センター主査）

内 容 尾張藩がまつりとどのように深くかかわっていたのかを紹介。

参加者数 31名

④ 城小屋「地質学者と歩く！岩石博物館・名古屋城」

日 時 令和5年11月18日（土）

午前10時～午前11時30分

会 場 本丸御殿 孔雀之間

講 師 愛知大学法学部教授 西本昌司氏

内 容 石垣に使われた石（岩石）の基礎知識を座学で紹介後、名古屋城の石垣を見学し解説

参加者数 35名

⑤ 城小屋「名古屋が愛し支えた能・狂言-江戸時代の名古屋城内外における能役者の境遇-」

日 時 令和6年1月6日（土）

午前10時～午前11時30分

会 場 本丸御殿 孔雀之間

講 師 椋山女学園大学文化情報学部教授 飯塚恵理人氏

内 容 尾張徳川家と能役者の関係、市井における能・狂言の発展について紹介

参加者数 25名

⑥ 城小屋「積直しから読み解く名古屋城石垣の歴史」

日 時 令和6年1月14日（日）

午前10時～午前11時30分

会 場 本丸御殿 孔雀之間

講 師 学芸員 二橋慶太郎氏

（名古屋城調査研究センター学芸員）

内 容 災害等により破損や崩落する度、修理・積直しが行われている名古屋城の石垣の歴史について、最新の調査成果を紹介

参加者数 33名

⑦ 城小屋「本丸御殿を飾る漆工芸-江戸の姿が蘇るまでの裏側

	<p>を語る一」</p> <p>日 時 令和6年3月16日(土) 午後6時～午後8時</p> <p>会 場 本丸御殿 孔雀之間</p> <p>内 容 本丸御殿の漆工芸に注目し、復元に関わった職人から話しを聞く。</p> <p>定 員 35人</p> <p>【その他】 名古屋城公式みやげ「NAGOYA CASTLE」シリーズの作成・販売 名古屋城の魅力を広くPRするためのグッズを作成した。 作成したグッズは、ノベルティとして配布するほか、実行委員会の活動経費にあてることを目的に一部販売を実施。</p>
--	--

(3)「名古屋城」、「近世」を中心とする郷土の歴史・文化について理解・普及を図るために、次の事業を実施した。

事業名	蒐集資料の貸出
内容等	<p>【蒐集資料のHPでの公開】 蒐集した美術工芸品 590点・郷土玩具 838点のうち、433点を「尾州名古屋コレクション」305点を「郷土玩具コレクション」として公開。</p> <p>【蒐集資料の貸出】(7件19点)</p> <p>① 貸出先 西の丸御蔵城宝館展示室 特別展「家康とお嫁様 名古屋城と春姫お輿入れ」 期 間 (令和5年3月18日(土))～6月18日(日) 資料名 黒漆塗葵紋若松唐草模様蒔絵長持 1棹</p> <p>② 貸出先 名古屋城春まつり「茶席特別公開」 期 間 令和5年5月1日(月)～5月5日(金・祝) 資料名 岡本柳南画「鮎菓子図」 1幅 鳥文斎栄之画「春秋耕作図」 1幅</p> <p>③ 貸出先 西の丸御蔵城宝館展示室 企画展「尾張ゆかりの甲冑・刀剣」 期 間 令和5年6月26日(月)～9月3日(日) 資料名 関ヶ原合戦絵巻 1巻</p> <p>④ 貸出先 愛知県立美術館 展覧会「幻の愛知県博物館」 期 間 令和5年6月30日(金)～8月27日(日) 資料名 古写真「金鯪の出品を背にして」 1枚</p>

元ト昌平阪聖堂二於テ博覧会図（三枚続）	1枚
東京名所三十六戯撰元昌平坂博覧会	1枚
明治八年京都大博覧会出品御物金鯨之図	1枚
万国一等名古屋金城煉兵之図	1枚
名古屋旧城鎮台天守金鯨図	1枚
名古屋金城及名所図（明治28年版）	1枚
名古屋防空演習記念絵皿	1枚

⑤ 貸出先 西の丸御蔵城宝館展示室
企画展「文化財を受け継ぐ」

期 間 令和5年9月9日（土）～10月9日（月・祝）

資料名 名古屋離宮城之図 1枚

名古屋城古写真 3枚

⑥ 貸出先 西の丸御蔵城宝館展示室

特別展「家康と名古屋東照宮」

期 間 令和5年10月17日（火）～12月17日（日）

資料名 名古屋城下図 1枚

⑦ 貸出先 名古屋城秋まつり「茶席特別公開」

期 間 令和5年11月19日（日）～11月23日（木・祝）

資料名 春秋耕作図 1幅

鯨図 1幅

【蒐集資料画像データの提供】（11件15点）

① 使用資料：「名古屋城鯨三題乃内 月の熱田を望む」

「名古屋城鯨三題乃内 雪の犬山を望む」

「東京名所三十六戯撰元昌平坂展覧会」

使用媒体：NHK 総合 番組「まるっと！」

申 請 者：NHK 名古屋放送局コンテンツセンター

② 使用資料：古写真「表二之門南から多門櫓が残る」

使用媒体：テレビ朝日「外国人がガチで投票！都道府県総選挙」

申 請 者：テレビ朝日第2制作部

③ 使用資料：「名古屋城鯨三題乃内 雪の犬山を望む」

使用媒体：ポスター・ちらしのデザイン

申 請 者：名古屋をどりの会

④ 使用資料：「万治年間名古屋絵図」

使用媒体：「中区将来ビジョン2028」中区紹介ページ

申 請 者：名古屋市中区役所

⑤ 使用資料：「徳川二十将図」

	<p>使用媒体：講演会「於大の方の血を引くものたち」 申請者：桑名市役所ブランド推進課</p> <p>⑥ 使用資料：「甚目寺のふり太鼓」「龍泉寺の春駒」 使用媒体：「47 都道府県伝統技術・伝統文化なるほどデータブック」 申請者：株式会社小学館クリエイティブ</p> <p>⑦ 使用資料：「万治年間名古屋絵図」 使用媒体：「日本史のなかの愛知県」 申請者：株式会社山川出版社</p> <p>⑧ 使用資料：名古屋城古写真「天守と月見櫓」 使用媒体：講演会「水堀からみる城郭」 申請者：名古屋城調査研究センター 種田祐司学芸員</p> <p>⑨ 使用資料：「万治年間名古屋絵図」 使用媒体：駿府城ガイドマップ「駿府城まるわかり」 申請者：静岡市</p> <p>⑩ 使用資料：「万治年間名古屋絵図」 使用媒体：BS-TBS 番組「関口宏の一番新しい江戸時代」 申請者：株式会社TBSスパークル</p> <p>⑪ 使用資料：「名古屋御本丸廻り之図」 「名古屋城古写真」 使用媒体：高田徹編「城郭がたどった近代」 申請者：戎光祥出版株式会社</p>
--	---

事業名	名古屋城重要文化財等展示収蔵施設「西の丸御蔵城宝館」運営
内容等	<p>【展示室】（名古屋市と共催事業）</p> <p>① 特別展「家康とお嫁様 -名古屋城と春姫お輿入れ-」</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 20px;"> <p>開催期間：(令和5年3月18日(土)) ~令和5年6月18日(日) 入館者数：92,440人(4月以降：79日間)</p> <p>(主な展示品) 本丸御殿障壁画 風俗図 [門付] 本丸御殿障壁画 芦雁図 葵紋黒漆塗唐草文金時絵女乗物 (上記3点 名古屋城蔵) 黒漆塗葵紋若松唐草模様蒔絵長持 (名古屋城振興協会蔵)</p> </div> </div>

② 企画展「尾張ゆかりの甲冑・刀剣」



開催期間：令和5年6月26日（月）
～令和5年9月3日（日）

入館者数：70,740人

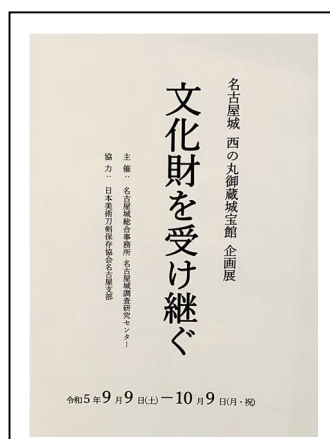
（主な展示品）

勝色系威胴丸具足鉄地金箔貼変り兜
梨子地竹に雀紋散蒔絵糸巻太刀拵
面類

太刀無銘 白檀塗唐草文太刀拵

（上記4点 名古屋城蔵）

③ 企画展「文化財を受け継ぐ」



開催期間：令和5年9月9日（土）

～令和5年10月9日（月・祝）

入館者数：32,215人

（主な展示品）

短刀 銘 兼元（2代）

朱色金粉溜塗鞘葵紋出鮫合口拵
（日本美術刀剣保存協会員蔵）

本丸御殿障壁画 天井板絵

（名古屋城蔵）

④ 特別展「家康と名古屋東照宮」



開催期間：令和5年10月17日（火）

～令和5年12月17日（日）

入館者数：76,269人

（主な展示品）

徳川家康筆「香合覚書」

徳川義直筆「徳川家康画像」

徳川義直筆「菅原道真画像」

東照宮縁起絵巻

山車人形頭 下七間町 弁慶

（上記5点 名古屋東照宮蔵）

⑤ 企画展「家康の謎 名古屋城本丸御殿の黒木書院」



開催期間：令和5年12月23日(土)
～令和6年2月25日(日)

入館者数：45,463人

(主な展示品)

本丸御殿障壁画 黒木書院 [山水図]

本丸御殿障壁画 黒木書院

[四季耕作図]

ガラス乾板 黒木書院

西北隅檜 当初材 六葉

(上記4点 名古屋城蔵)

⑥ 特別展「守山の御寺 大森寺の宝物」



開催期間：令和6年3月2日(土)

(～令和6年5月7日(火))

入館者数：26,760人(3月31日まで)

(主な展示品)

徳川光友黒印状

徳川光友筆「竹雀図」

御深井釉牡丹唐草文水瓶

阿弥陀如来像

深誉吞益上人坐像

(上記5点 大森寺蔵)

【歴史情報ルーム】

① 常設展示「名古屋城の歴史-築城から天守閣再建まで-」

令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

② 速報西之丸発掘調査報告(担当：名古屋城調査研究センター)

開催期間：(令和4年9月17日(土))

～令和5年5月23日(火)


内容等：令和4年度に行われた西之丸の蔵跡調査の成果を
出土品を含め速報的に展示

③ 表二之門発掘調査速報展(担当：名古屋城調査研究センター)

開催期間：令和5年5月24日(水)～令和5年9月20日(水)

内容等：今年度行われた表二之門の発掘調査の成果を出土
品を含め速報的に展示

	<p>④ 二之丸の屋根を彩った瓦（担当：名古屋城調査研究センター） 開催期間：令和5年9月21日（木） ～（令和6年4月25日（木）） 内容等：二之丸庭園の名勝指定70年を記念して、かつての発掘で出土した遺品を含め展示</p> <p>⑤ 守山区と徳川家康（担当：守山区役所） 開催期間：令和5年9月21日（木）～令和5年9月28日（木） 内容等：小幡城ジオラマを中心に、守山区の歴史を紹介するパネル展示</p> <p>⑥ 名古屋まつり記念展示「東照宮祭の山車」（担当：名古屋城振興協会） 開催期間：令和5年10月7日（土） ～令和5年11月15日（水） 内容等：名古屋まつりの開催を記念して、東照宮祭でかつて曳きまわされていた山車を紹介</p> <p>⑦ 情報コーナー「名古屋城新聞」 開催期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日） 内容等：名古屋城の「今」の状況や来館者から寄せられた質問に答える記事を新聞形式で掲出し、来館者に知らせるもの。</p> <p>⑧ 職場体験の受入れ 内容等：名古屋市内を中心とする中学生の職場体験を西の丸御蔵城宝館で受入れ、接客の体験や学芸員の仕事体験をしていただいた。</p>
--	---

事業名	御深井丸展示館運営
内容等	<p>【常設展示】</p> <p>① 「名古屋城本丸御殿 匠（たくみ）の写真館」</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>開催期間：令和5年4月1日（土） ～令和6年3月31日（日） 入館者数：378,982人</p> </div> </div> <p>【企画展】</p> <p>① 「起土人形」</p>



開催期間：令和5年4月11日（火）
～令和5年6月28日（水）

入館者数：51,469人

（主な展示品）

古代犬
五条橋と牛若丸
大石内蔵助

② 「縁起物」



開催期間：令和5年6月30日（金）

～令和5年9月26日（火）

入館者数：139,342人

（主な展示品）

桜天神社の鶯
龍泉寺の春駒
犬張子

③ 「ちょこっと深掘り！三河の土人形」



開催期間：令和5年9月28日（木）

～令和5年12月26日（火）

入館者数：85,421人

（主な展示品）

桶狭間
きらら鈴
ふくら雀

④ 「郷土の祭りとお土産玩具」



開催期間：令和5年12月28日（木）

～（令和6年4月9日（火））

入館者数：94,287人（3月31日まで）

（主な展示品）

東照宮の山車
きねこさ
狐面

Ⅲ その他事業

1 販売事業

来場者の利便を図るために次の施設の運営を実施するとともに、各種観光キャンペーンに参加し、観光客の誘致活動を行った。

運営施設	正門横売店、内苑売店、金鯨の館、西の丸御蔵城宝館「三番御蔵」
内 容	名古屋城・西の丸御蔵城宝館のオリジナルグッズ販売  <p>西の丸御蔵城宝館オリジナル 「米からできた定規」 「米からできたボールペン」</p>

運営施設	二の丸茶亭、麺類食堂、内苑・正門横売店・東門軽食コーナー
内 容	飲食物の販売

運営施設	正門横休憩所、二の丸休憩所等
内 容	飲料用自動販売機・コインロッカーの設置並びに運営
誘致活動	<p>名古屋得ナビ（ドニチエコきっぷ）事業 なごや観光ルートバス（メーグル）広報事業 エースJTBお休み処＜名古屋城＞企画 愛知冷やし旅企画・ずらし旅選べる体験利用券企画 大河ドラマ企画・どこ行く家康御城印企画 でらますコラボ商品期間限定販売</p>   <p>（お休み処提供 抹茶と金シャチ焼） （でらますオリジナル御城印）</p>

2 駐車場事業

名古屋市から受託した駐車場使用料の徴収や日常的な施設の維持管理業務を適切に行うとともに、公正なサービスをより効率的に提供し、公園利用者のサービス向上を図った。

業 務 名	公園駐車場（有料公園施設）使用料徴収業務 ※名古屋市みどりの協会・名古屋城振興協会グループ受託
担当施設	名城公園正門前駐車場（大型車 28 台・普通車 308 台） 名城公園二の丸東駐車場（普通車 123 台）
期 間	令和 5 年 4 月 1 日（土）～令和 6 年 3 月 31 日（日）

3 名古屋城業務受託事業

名古屋城来場者に安全・快適な施設の提供を目指すとともに、業務の効率的な運営を実施した。

業 務 名	名古屋城発券・改札、警備、本丸御殿、隅櫓、清掃等業務 ※名古屋城サービス共同事業体受託 （構成団体：（株）オムニ・名古屋城振興協会・（株）ISP 警備保障）
担当業務	観覧券の販売・観覧料の払込及び改札業務、総合案内所運営業務、電話・来客対応、本丸御殿運営業務、隅櫓運営業務、ガイドボランティア、茶席管理業務、本丸御殿孔雀之間管理業務、清掃業務
期 間	令和 5 年 4 月 1 日（土）～令和 6 年 3 月 31 日（日）